

#### 4 医療機関の適正利用の促進

地域医療提供体制に関する市民の理解を深めるとともに、医療機関の機能分化や救急医療の適正受診が促進されるよう普及啓発を実施する。

また、医療に関する患者、家族等の苦情、相談等に迅速に対応し、医療機関への情報提供等を実施する体制を確保するため、医療相談窓口を設置する。

(1) 医療相談窓口の設置（平成17年度開始 平成23年度予算：2,399千円 市単独）

##### 【事業の目的・内容】

医療相談窓口を設置して、医療に関する患者、家族等からの相談や苦情に迅速に対応し、医療機関にこれらの情報を提供することで、医療の安全と信頼を高めるとともに、より良い医療サービスの提供に寄与する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
医療法、医療安全支援センター運営要領について（平成19年医政発第0330036号）	総務課地域医療グループ

##### 《実 績》

相談受付件数 (件)

年 度	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2
苦 情	7 0	6 7	7 9	9 3	8 0
相 談	3 5 7	3 5 1	4 6 9	5 1 6	5 1 8
合 計	4 2 7	4 1 8	5 4 8	6 0 9	5 9 8

(2) 救急医療適正受診の促進（昭和63年度開始 平成23年度予算：791千円 市単独）

##### 【事業の目的・内容】

救急医療に対する市民の理解と協力を確保するため、市民への救急医療の適正受診に関する普及啓発を行うとともに、その他の適正受診促進策を検討、実施する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
救急の日及び救急医療週間実施要綱	総務課地域医療グループ

##### 《実 績》

##### ① 救急の日記念講演会

年度	テーマ	参加者数
H18	「急に心臓が止まったら」 講師：獨協医科大学 救命救急センター長 崎尾秀彰 氏	150人
H19	「家族が病気やけがで一刻を争う事態になったら」 講師：済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター所長 小林健二 氏	100人
H20	「市民に学んでもらいたい応急処置」 講師：自治医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 鈴川正之 氏	150人

年度	テーマ	参加者数
H21	救急医療を守り育てるシンポジウム 開催日時：平成21年9月20日（日） 午後1時～午後4時45分 会場：宇都宮市東コミュニティセンター ホール 実施内容：	170人
	第1部 基調講演，AEDの実演 テーマ「こんな時は，救急車を呼ぼう」 講師：獨協医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 小野一之 氏	
	第2部 パネルディスカッション テーマ「上手に使おう救急医療」 ・コーディネーター 高橋 淳 氏（下野新聞社宇都宮総局長・論説委員） ・パネラー 中村 勤 氏（宇都宮市保健福祉部次長兼保健所長） 鈴木 誠一 氏（宇都宮市消防本部救命救急士） 小林 健二 氏（済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター長） 増田 典弘 氏（独立行政法人国立病院機構宇都宮病院診療部長） 菊池 進一 氏（宇都宮市医師会副会長） 大野 英雄 氏（NPO法人地域医療を育てる会理事）	
	その他 一次救命処置に関するパネルを展示	
H22	救急フェスタ ～どうしよう！子どもの急な病気やけが～ 開催日時：平成22年9月5日（日） 午後1時～午後4時30分 会場：とちぎ健康の森 実施内容：○「救急医療の標語」入賞作品表彰式（応募総数262点） ・宇都宮市長賞 「みんなの命を救うのは あなたのモラルと救急医療」 ・宇都宮市医師会長賞 「ありがとう 夜もねむらず 救急医りよう」 ○「小児救急に関する講演会」 ・テーマ：「子どもの病気 あわてず対処が基本です」 講師：福田 哲夫 先生（福田こどもクリニック院長） ・テーマ：「小児救急の判断と上手なかかり方」 講師：桃井 真里子 先生（自治医科大学小児科学教授） ○「ママの健康・子育て相談」 ○「救急体験コーナー」	300人

## ② 救急受診の手引き 「市民みんなで支えよう救急医療」

区分	内容
監修	宇都宮市救急医療対策連絡協議会
掲載内容	子どもから高齢者まで幅広い年齢層に活用してもらえる以下の8項目を掲載 ①救急医療の現状 ②ふだんから心掛けること ③子どもの病気 あわてず対処が基本です ④症状に応じた救急車の利用を！ ⑤お年寄りによくある事故とその対処法 ⑥救急医療の仕組み ⑦応急手当の仕方 ⑧AED設置施設マップ

※A4判21頁で20万部作成し平成22年3月に各家庭に全戸配布，市ホームページへの掲載

## ③ 救急出前講座

- ・講座名称 「急な病気やケガをしたときあわてないために」
- ・内容 急な病気やケガをしたとき，あわてないために必要な知識の啓発  
納得できる医療を受けるため，上手な医者のかかり方などの知識の普及啓発
- ・受講者数 5回 212名

④ 救急医療アンケート調査の実施

- ・実施時期 平成22年7月
- ・実施方法 市内19医療機関、16救急告示医療機関及び夜間休日救急診療所を受診した方を対象にアンケート調査
- ・調査目的 救急医療に対する市民の意識を調査し、救急医療体制の満足度等を把握することで、今後の方策の検討に資する。
- ・調査数 3,504人

⑤ 広報うつのみや9月号 救急医療特集